

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年 第 32 週

令和7年8月4日 ～ 令和7年8月10日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	【第32週】 結核 患者1名 (80代・女性)
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第32週】 百日咳 患者2名 (10代未満・女性、男性)

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加 ↑↑;2週連続増加 ↑↑↑;急増

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	31 週	32 週	開始	終息			31 週	32 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.00	0.00	30	10	10	突発性発しん	0.33	0.00			
COVID-19	6.80 ↑	6.00				ヘルパンギーナ	0.33	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	80.60 ↑	85.00 ↑↑				流行性耳下腺炎	0.33	0.33	6	2	3
RSウイルス感染症	0.00	2.00 ↑↑↑				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.00	0.33 ↑	3	1		流行性角結膜炎	1.00 ↑	2.00 ↑↑	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.33	3.00	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	7.00 ↑	3.33	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.33	0.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	1.00 ↑↑			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.00	2.33 警報	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

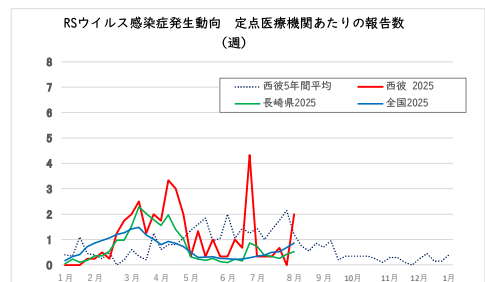
トピックス・季節情報

急性呼吸器感染症(RSウイルス感染症)に注意しましょう

RSウイルス感染症とは、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。2歳までにほぼ100%の子供がRSウイルスに少なくとも1度は感染すると言われており、RSウイルスは何度も感染と発病を繰り返します。症状は、発熱、鼻汁などの軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は接触感染と飛沫感染で広がります。通常RSウイルスに感染してから2～8日、典型的には4～6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。特に生後6か月以内の乳児や慢性呼吸器疾患などの基礎疾患を有する高齢者は重症化するおそれがあり注意が必要です。

【感染予防対策】

- 手指衛生、アルコール消毒(手やおもちゃなど)
- 咳エチケット
- ワクチン(60歳以上を対象としたワクチン、生まれてくる子どもの予防を目的とした妊婦を対象としたワクチン)



伝染性紅斑が警報レベルになりました

両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもあります。

- 頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多く、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。
- 日頃からの感染症対策に努めましょう。



【妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ】

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこともあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に医師に伝えてください。